

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平8-1058

(43) 公開日 平成8年(1996)7月2日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

A 6 1 F 5/453  
13/15  
5/44

7108-4C

H 7108-4C

A 4 1 B 13/ 02

A

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 6 頁)

(21) 出願番号

実願平4-94586

(22) 出願日

平成4年(1992)12月29日

(71) 出願人 594132437

高尾 光秀

福岡県福岡市博多区吉塚6丁目7番12号

(71) 出願人 593036372

高尾 智美

千葉県千葉市稲毛区小仲台3丁目14番3-202号

(72) 考案者 高尾 智美

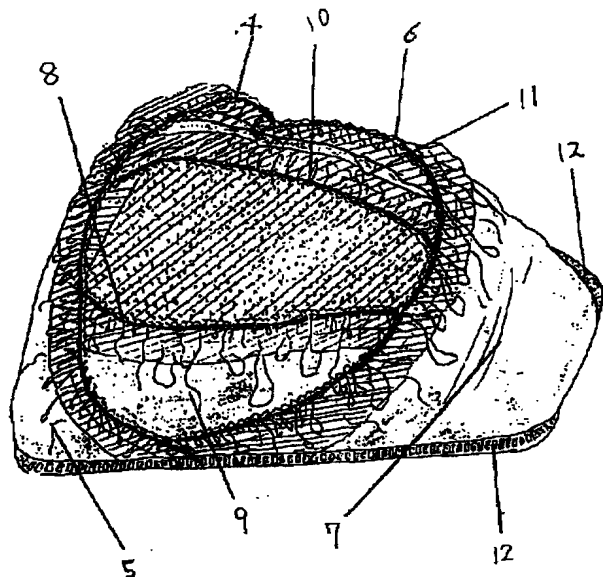
千葉県千葉市稲毛区小仲台3丁目14番3-202号

(54) 【考案の名称】 男性の尿吸収専用使い捨てオムツ

(57) 【要約】 (修正有)

【目的】 男性の尿のみの吸収を用とし、バックシート1とトップシート2が、男児の場合は、男性性器全体を(大人の男性の場合は陰茎を)、付け根の部分で袋状に包むことができるような形をした、使い捨てオムツの提供。

【構成】 底面に、剥離紙のついた粘着剤層があり、バックシート1とトップシート2の間に、吸収体3を介在固定させた、使い捨てオムツにおいて、ゴムをほどこした上方立体と、ゴムをほどこした下方立体と、ゴムをほどこした左方立体と、ゴムをほどこした右方立体の、4つの立体でできる袋状のポケットによって、バックシート1とトップシート2が、男児の場合は、男性性器全体を(大人の男性の場合は陰茎を)、付け根の部分で袋状に包むことができるような形状をしている男性の尿吸収専用使い捨てオムツ。



1

2

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 使い捨てオムツにおいて、男子の尿の吸収のみを専用とするオムツで不透水性のバックシート②とその内側の透水性のトップシート①が男性性器を包み込む袋状に形成してあり、底面部分から見ておにぎり型をしている使い捨てオムツ。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案の斜視図である。

【図2】 本考案の断面図である。

\* 【図3】 本考案の平面図である。

【図4】 本考案の底面図である。

【図5】 本考案の正面図である。

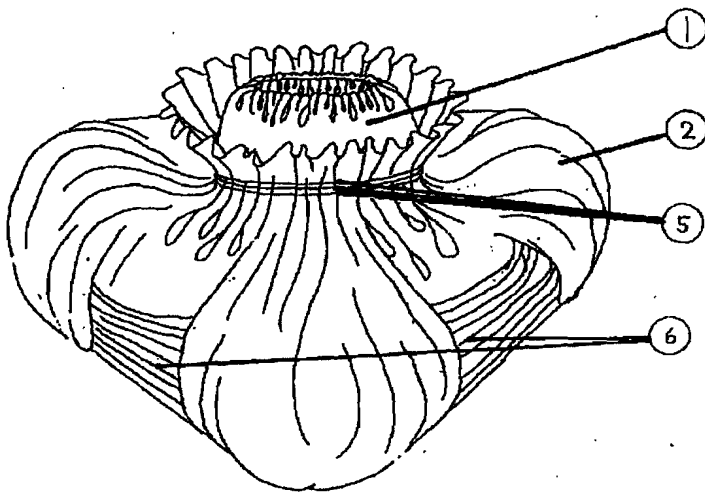
【図6】 本考案の断面部分を一部拡大した図である。

【符号の説明】

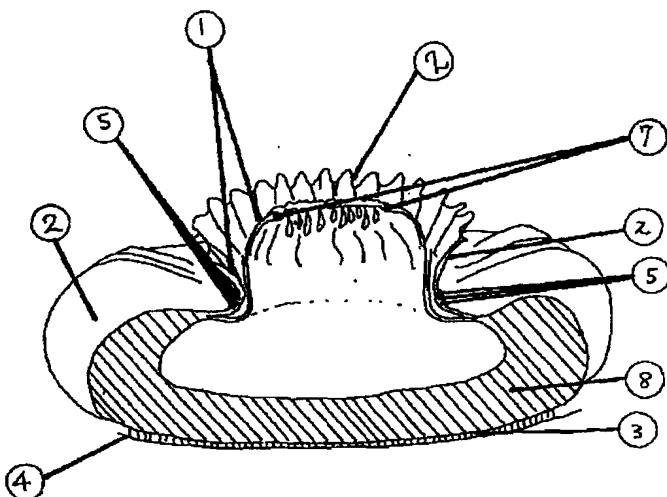
①透水性のトップシート ②不透水性のバックシート  
③粘着剤層 ④剥離紙 ⑤伸縮性ゴム ⑥折り目ギャザー  
⑦輪型ゴム ⑧吸収体

\*

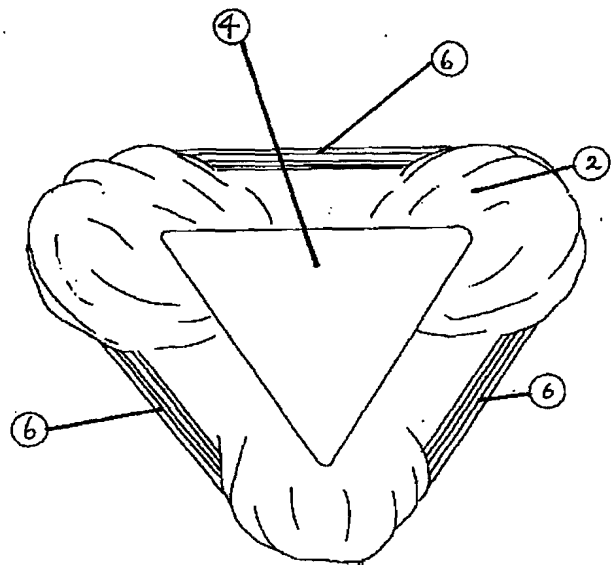
【図1】



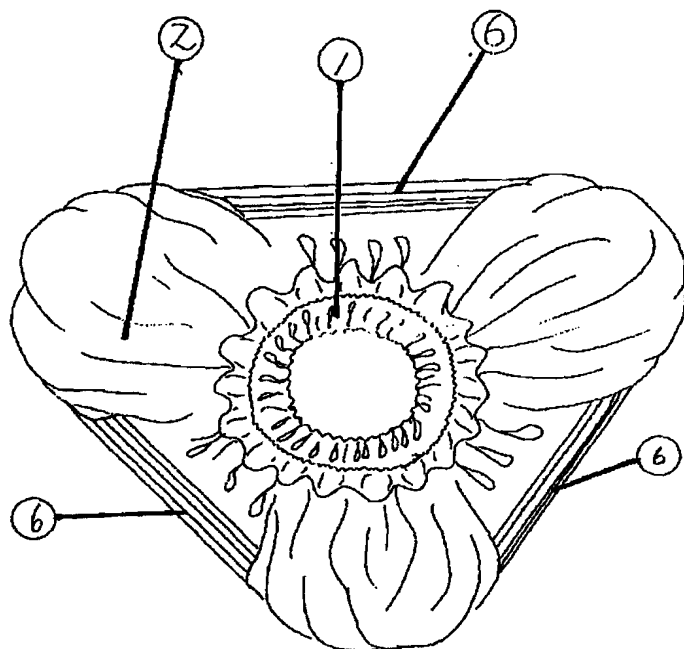
【図2】



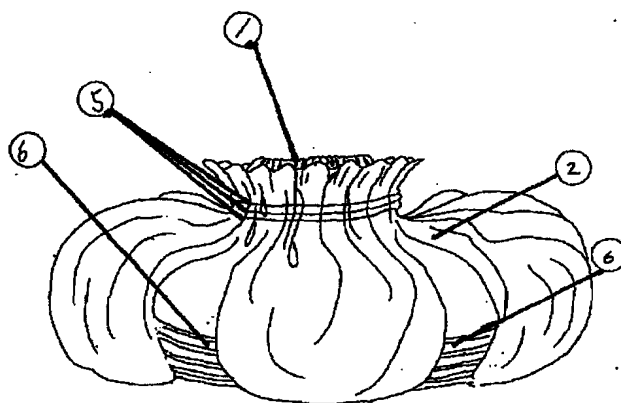
【図4】



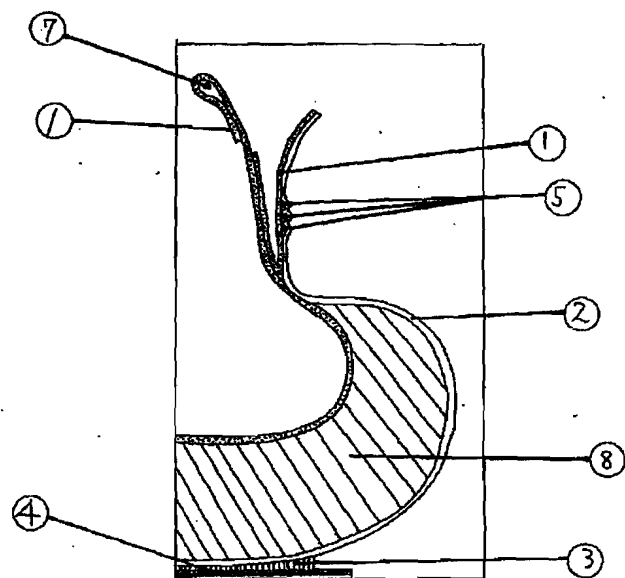
【図3】



【図5】



【図6】



## 【手続補正書】

【提出日】平成6年1月26日

## 【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正内容】

【考案の名称】 男子の尿吸収専用使い捨てオムツ

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】底面に、剥離紙が付いた粘着剤層があり、不透水性のバックシート1と透水性のトップシート2の間に、吸収体3を介在固定させた使い捨てオムツにおいて、ゴムA4をほどこした上方立体A5と、ゴムB6を

立体C 9と、ゴムD 10をほどこした右方立体D 11の、4つの立体でできるポケットによって、バックシート1と、トップシート2が、男性性器を付け根の部分で袋状に包むことができるような形に形成してあり、底面部から見て、台形をしている。以上のような使い捨てオムツ。

【図面の簡単な説明】

【図1】 トップシート2の一部をはぎとった時の展開平面図

【図2】 斜視図

【符号の説明】

1 バックシート 2 トップシート 3 吸\*

\*収体

4 ゴムA	5 上方立体A	6 ゴムB
7 下方立体B	8 ゴムC	9 左方立体C
10 ゴムD	11 右方立体D	12 圧縮接着固定処理部位

【手続補正3】

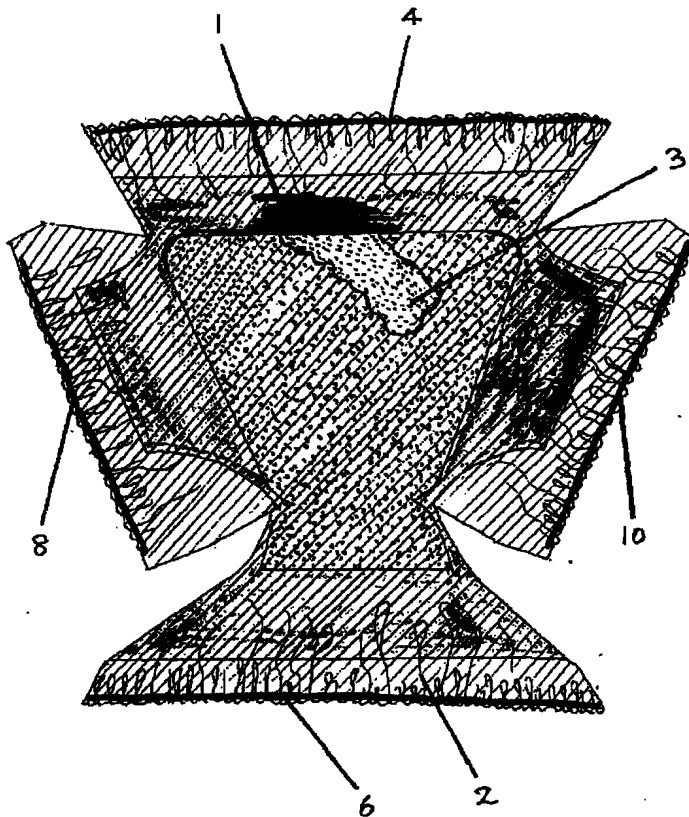
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】全図

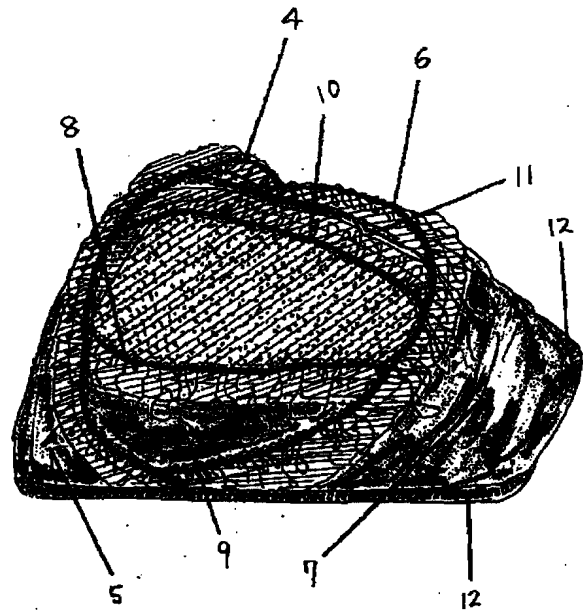
【補正方法】変更

【補正内容】

【図1】



【図2】



【手続補正書】

【提出日】平成6年10月19日

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正内容】

【考案の名称】 男性の尿吸収専用使い捨てオムツ

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】底面に、剥離紙付いた粘着剤層があり、不透水性のバックシート1と、透水性のトップシート2の間に、吸収体3を介在させた使い捨てオムツにおいて、ゴムA 4をほどこしたトップシート2とバックシート1

シート2とバックシート1でできた下方立体B7と、ゴムC8をほどこしたトップシート2とバックシート1でできた左方立体C9と、ゴムD10をほどこしたトップシート2とバックシート1でできた右方立体D11の、4つの立体でできる袋状のポケットによって、バックシート1と、トップシート2が男性性器を袋状に包むことができるような形に形成してある。  
 以上のごとく構成された使い捨てオムツ。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案のトップシート2の一部をはぎ取った時の展開平面図。

【図2】 男性性器全体を包む場合の本考案の斜視図。

【図3】 男性性器の 茎のみを包む場合の本考案の平面図

\* 【符号の説明】

- |               |          |
|---------------|----------|
| 1 バックシート      | 2 トップシート |
| 3 吸収体         |          |
| 4 ゴムA         | 5 上方立体A  |
| 6 ゴムB         |          |
| 7 下方立体B       | 8 ゴムC    |
| 9 左方立体C       |          |
| 10 ゴムD        | 11 右方立体D |
| 12 圧縮接着固定処理部位 |          |

【手続補正2】

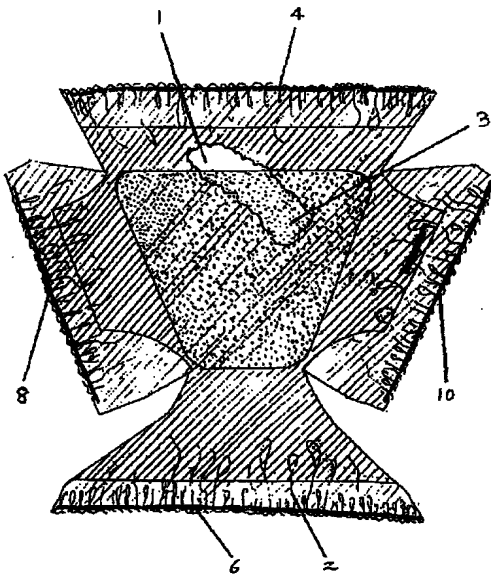
【補正対象書類名】 図面

【補正対象項目名】 全図

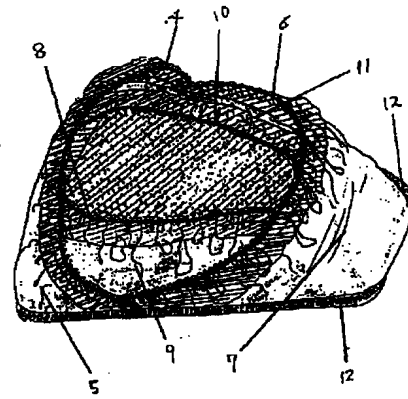
【補正方法】 変更

【補正内容】

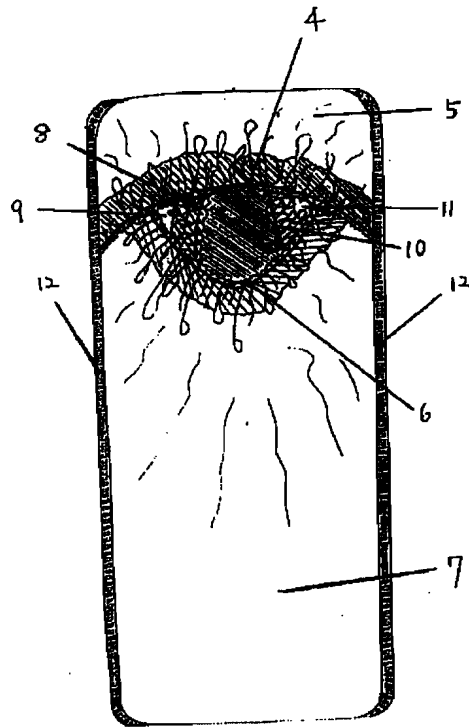
【図1】



【図2】



【図3】



**【考案の詳細な説明】****【0001】 【産業上の利用分野】**

本考案は、男子の尿の吸収専用の使い捨てオムツに関するものである。

**【0002】 【従来の技術とその問題点】**

従来の使い捨てオムツは、臀部から性器全体を覆う構造となっている。

したがって、男子において、大便の失敗の心配がなく、尿だけの吸収が必要な場合。もしくは、男子の少量の放尿を吸収したい場合、次のような欠点があった。

(イ) 従来の使い捨てオムツでは、夏の暑い時期には、皮膚を覆う面積が大きい  
ため、不快感も大きく、むれやかぶれの原因になりやすく皮膚への負担も大きい  
。

(ロ) 尿だけを吸収した場合、従来の使い捨てオムツでは、臀部の部分は、使用  
せずに捨てるが多かった。

(ハ) 従来の使い捨てオムツでは、尿が広範囲に散りやすい。

**【0003】 【考案が解決しようとする課題】**

本考案の目的は、従来の使い捨てオムツの欠点を解消するため、男子の尿のみ  
を吸収することを専用とする男性性器を包み込む袋状の形をした使い捨てオムツ  
を提供することにある。

**【0004】 【問題を解決するための手段】**

その目的を達成するため、本考案は、不透水性バックシート<sup>②</sup>とその内の透水性の  
トップシート<sup>①</sup>を袋状にして男性性器をつつみ、男性性器の付け根部分に伸縮性  
ゴム<sup>⑤</sup>の部分と透水性のトップシート<sup>①</sup>の先端のゴム<sup>⑦</sup>部分をあて不透水性  
バックシート<sup>②</sup>と透水性のトップシート<sup>①</sup>との間に吸収体<sup>⑧</sup>を介在固定させた構  
造となっており、男子の尿のみを吸収体に吸収させるしくみとなっている。

**【0005】 【作用】**

男子の尿は、男性性器の先端部分より放出される。従って、男性性器を袋状の  
不透水性のバックシート<sup>②</sup>で覆っておけば、尿が不透水性のバックシート<sup>②</sup>の外  
に広がることなく、狭い範囲で、より効果的に尿を吸収することができる。

**【0006】 【実施例】**

以下、本考案の実施例について説明する。

(イ) プラスチックフィルムなどの不透水性のバックシート<sup>②</sup>を袋状にして、その側面は、三方に折り目ギャザー<sup>⑥</sup>を付け、底面部から見て、おにぎり型をしている。袋の入り口付近に伸縮性ゴム<sup>⑤</sup>がほどこしてあり、袋の入り口を伸び縮みさせることができる。

(ロ) 袋の内側は、不織布などの透水性のトップシート<sup>①</sup>で覆われており、透水性のトップシート<sup>①</sup>は、一旦、袋内の伸縮性ゴム<sup>⑤</sup>のあるところより下方で、直接不透水性のバックシート<sup>②</sup>に固定され、そこより独立して、袋の入り口より突出している。透水性のトップシート<sup>①</sup>の突出した部分の端は輪型ゴム<sup>⑦</sup>が通っている、透水性のトップシート<sup>①</sup>の入り口を伸び縮みさせることができる。

(ハ) 不透水性のバックシート<sup>②</sup>と透水性のトップシート<sup>①</sup>の間には、綿状パルプや高分子吸収体などの吸収体<sup>⑧</sup>が介在固定してある。

(ニ) 袋の外の底面部には、粘着剤層<sup>③</sup>があり、その層には剥離紙<sup>④</sup>が付着してある。

(ホ) 本案使用時には、まず、透水性のトップシート<sup>①</sup>の先端の輪型ゴム<sup>⑦</sup>と不透水性のバックシート<sup>②</sup>の伸縮性ゴム<sup>⑤</sup>を伸ばして男性性器を袋の内に通し、男性性器の付け根で固定させ、男性性器に本案の使い捨てオムツをあてがう。次に、底面の剥離紙<sup>④</sup>を剥離した状態で、個々の身体に合った既成のパンツをはいて、パンツに粘着剤層<sup>③</sup>を装着させて使用する。

(ヘ) 本案は、大きさや形状を変えると、男の赤ちゃんから大人の男性まで幅広く利用できる。

(ト) また、トイレトレーニング中の低年齢の男の子の失敗予防用の使い捨てオムツとしても利用できる。

(チ) また、従来の使い捨てオムツや布オムツとの併用もできる。

#### 【0007】【考案の効果】

本考案を男子が使用すると、次のような効果がある。

(イ) 尿を広い範囲に拡散することなく、効果的に吸収することができる。

(ロ) 肌との接触面が小さくなり、夏の暑い時期の不快感を少しでもやわらげることになる。



(ハ) トイレトレーニング中の男の子の場合も手軽に使用でき、不意にもらした時にもパンツやズボンを濡らさずにすむ。

(ニ) 従来の使い捨てオムツや布オムツと併用した場合、尿のみの交換が容易にできる。

(ホ) 大人の場合、尿失禁などの男性患者にも利用できる。

(ヘ) 軽量化によりコストダウンにつながる。

(ト) 底面部から見て、おにぎり型をしているので、パンツにあてがいがやすい。

(チ) パンツに粘着剤層<sup>③</sup>が付着するのでズレにくい。

【提出日】平成6年1月26日

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正内容】

【考案の詳細な説明】

【0001】〔産業上の利用分野〕

本考案は、底面部に粘着剤層があり、不透水性のバックシート1と透水性トップシート2の間に、吸収体3を介在固定させた使い捨てオムツに関するものである。

【0002】〔従来の技術とその問題点〕

従来の使い捨てオムツは、おしりから性器全体を覆う構造となっている。従って、男性において、大便の失敗の心配がなく、尿だけの吸収が必要な場合、もしくは、男性の無意識に出てくる尿を吸収したい場合、次のような欠点があった。

(イ) 夏の暑い時期には、皮膚を覆う面積が大きいため、不快感も大きくむれやかぶれの原因になりやすく、皮膚への負担も大きい。

(ロ) おしりを覆った部分は、使用せずに捨てる場合が多い。

(ハ) 尿が広範囲に散りやすい。

【0003】〔考案が解決しようとする課題〕

本考案の目的は、従来の使い捨てオムツの欠点を解消する為、男性の尿のみを吸収することを専用とする使い捨てオムツとし、バックシート1とトップシート2が、男性性器を付け根の部分で、袋状に包むことができるような形をした使い捨てオムツを提供することにある。

【0004】〔問題を解決するための手段〕

その目的を達成するため、本考案は、底面部に剥離紙のついた粘着剤層があり、不透水性のバックシート1と透水性のトップシート2の間に、吸収体3を介在固定させた使い捨てオムツにおいて、次のような構成をしている。

(イ) ゴムA4をほどこした上方立体A5と、ゴムB6をほどこした下方立体B7と、ゴムC8をほどこした左方立体C9と、ゴムD10をほどこした右方立体D11の4つの立体でできるポケットがある。

(ロ) バックシート1とトップシート2が、男性性器を付け根の部分で袋状に包むことができるような形をしている。

(ハ) 左右の側面に、圧縮接着固定処理部位12がある。

(ニ) 底面部から見て、台形をしている。(台形の角が丸くなってもよい。)

【0005】〔作用〕

本考案の使用は次のようにする。

(イ) 台形の平行線の長い方の辺を上方にもってくる。

(ロ) 上方立体A5、下方立体B7、左方立体C9、右方立体D11によってできる4つのポケットの内側に、男性性器を通し、ゴムA4と、ゴムB6と、ゴムC8と、ゴムD10を、男性性器の付け根で固定させ、本考案使い捨てオムツをあてがう。

(ハ) 底面部の剥離紙を、剥離した状態で、個々の身体に合った既成のパンツをはいて、パンツに粘着剤層を装着させて使用する。

(ニ) すると、男性性器がつけ根の部分で、バックシート1とトップシート2によって、袋状に包まれた状態となる。

(ホ) 従って、男性性器の先端部分より放出される尿が、バックシート1とトップシート2によってできる袋状の本考案の紙オムツの外部に飛び出すことなく、

バックシート1とトップシート2の間に介在固定させた吸収体3に狭い範囲で、効果的に吸収されることができる。

【0006】〔実施例〕

以下、本考案の実施例について、〔図1〕〔図2〕を参照しながら説明する。

(イ) 底面側に、プラスチックフィルムなどの不透水性のバックシート1を置き、頂点側に、不敷布などの透水性のトップシート2を置き、バックシート1とトップシート2の間の中心部分に、綿状パルプや高分子吸収体などの吸収体3を介在固定する。〔図1〕参照。

(ロ) バックシート1よりも、トップシート2の方が、面積が大きめに作られており、トップシート2には、四方に、ゴムA4、ゴムB6、ゴムC8、ゴムD10がほどこされている。〔図1〕参照。

(ハ) ゴムA4、ゴムB6、ゴムC8、ゴムD10のほどこし方は、トップシート2の先端の一部をトップシートの底面側に接着し、トップシート2が二重に重なった部分の内側にゴムA4、ゴムB6、ゴムC8、ゴムD10を伸ばした状態で接着している方法をとっている。しかし、どのようなほどこし方でもかまわない。

(ニ) ゴムA4がほどこしてあるバックシート1及びトップシート2を、頂点方向に谷折りに折り曲げた部分が、上方立体A5となる。(図2)

(ホ) ゴムB6がほどこしてあるバックシート1及びトップシート2及び吸収体3を、頂点方向に谷折りに折り曲げた部分が、下方立体B6となる。(図2)

(ヘ) ゴムC8がほどこしてあるバックシート1及びトップシート2を、頂点方向に谷折りに折り曲げた部分が、左方立体C9となる。(図2)

(ト) ゴムD10がほどこしてあるバックシート1及びトップシート2を、頂点方向に谷折りに折り曲げた部分が、右方立体D11となる。(図2)

(チ) まず、左方立体C9の、ゴムC8のほどこしている以外のふちの部分、上方立体A5と下方立体B7のトップシート2のある側に接着固定する。

(リ) 次に、右方立体D11の、ゴムD10のほどこしている以外のふちの部分を、上方立体A5と下方立体B7のトップシート2のある側に接着固定する。

(ヌ) そして、下方立体B7の、ゴムB6のほどこしている以外のふちの部分を

、左方立体C 9及び右方立体D 1 1のバックシート1のある側に、接着固定する。

(ル) また、上方立体A 5の、ゴムA 4のほどこしている以外のふちの部分、左方立体C 9及び右方立体D 1 1のバックシート1のある側に、接着固定する。

(ヲ) 最後に、本考案の左右の側面を、圧縮接着固定処理し、そこが、圧縮接着固定処理部位1 2となる。〔図2〕参照。

(ワ) 本考案は、底面から見て台形をしているが、台形の角の部分、底面側に折り曲げるか又は丸くカットして、角の丸い台形にしてもよい〔図2〕参照。

(カ) 本考案の底面部には、粘着剤層があり、その層には、剥離紙が付着している。

(ヨ) 上方立体A 5、下方立体B 7、左方立体C 9、右方立体D 1 1によってできた、4つのポケットの入り口は、ゴムA、ゴムB、ゴムC、ゴムDがそれぞれほどこされているので、伸び縮みさせることができる。

(タ) 圧縮接着固定処理を、本考案の上下左右の側面にすべてほどこしてもよい。

(レ) 本考案は、それぞれの部分の、大きさ、長さ、比率、形状などを自由に変えて作成してもよい。

(ソ) ゴムA 4、ゴムB 6、ゴムC 8、ゴムD 1 0の、ゴムの大きさ、長さ、強さ、本数、ほどこし方などは、自由に変えて作成してもよい。

(ツ) トップシートなどで、通気性のある素材で作った、既成のパンツ型のパンツの内側前面部分に、本考案が装着固定されてもよい。

(ネ) 本考案の台形の四方の角に、ゴムひも、又はひも、又はゴムのついたひも、又は粘着テープの付いたひもなどをとりつけると、底面側についている粘着剤層と剥離紙は、なくてもかまわない。また、既成のパンツをはかなくても使用が可能になる。

#### 【0007】〔考案の効果〕

本考案を、男性が使用すると、次のような効果がある。

(イ) 尿が広い範囲に拡散することなく、狭い範囲で効果的に、吸収体3に吸収させることができる。

- (ロ) 従って、使い捨てオムツの小型化、軽量化、コストダウンが図れる。
- (ハ) 素材を変えると、布オムツとしても利用できる。
- (ニ) 使い捨てオムツと皮膚の接触面が少なくなり、夏の暑い時期の不快感を、少しでもやわらげることができる。
- (ホ) 大きさや形状を変えると、男の赤ちゃんから、大人の男性まで使用できるので、トイレトレーニングや尿失禁などの男性患者など幅広い利用が可能である。
- (ヘ) 剥離紙をはぎ、粘着剤層をパンツにあてがうだけで、手軽に使用できる。
- (ト) 従来の使い捨てオムツの構造の一部としても利用できる。

【提出日】平成6年10月19日

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正内容】

【考案の詳細な説明】

【0001】〔産業上の利用分野〕

本考案は、底面に剥離紙が付いた粘着剤層があり、不透水性のバックシート1と透水性のトップシート2の間に、吸収体を介在させた使い捨てオムツに関するものである。

【0002】〔従来の技術とその問題〕

従来の使い捨てオムツは、おしりから男性性器全体までを覆う構造となっている。従って、男性において、大便の心配がなく、尿だけの吸収が必要な場合、もしくは、男性の無意識に出てくる少量の尿を吸収したい場合、次のような欠点があった。

(イ) 夏の暑い時期には、皮膚を覆う面積が大きいため、不快感も大きくむれやかぶれの原因になりやすく、皮膚への負担も大きい。

(ロ) おしりを覆った部分は、使用せずに捨てる場合が多い。

(ハ) 尿が広範囲に散りやすい。

【0003】〔考案が解決しようとする課題〕

本考案の目的は、従来の使い捨てオムツの欠点を解消する為、男性の尿のみを吸収することを専用とする使い捨てオムツとし、男児の場合は、男性性器全体を（大人の男性の場合は、陰茎を）、付け根の部分で袋状に包むことができるような形をした、使い捨てオムツを提供することにある。

【0004】〔問題を解決するための手段〕

その目的を達成するため、本考案は、底面に剥離紙のついた粘着剤層があり、不透水性のバックシート1と、透水性のトップシート2の間に、吸収体3を介在固定させた使い捨てオムツにおいて、次のような構成をしている。

(イ) ゴムA4をほどこしたトップシート2とバックシート1でできた上方立体A5と、ゴムB6をほどこしたトップシート2とバックシート1でできた下方立体B7と、ゴムC8をほどこしたトップシート2とバックシート1でできた左方立体C9と、ゴムD10をほどこしたトップシート2とバックシート1でできた右方立体D11の、4つの立体でできる、袋状のポケットがある。

(ロ) 袋状のポケットの内側に、トップシート2があり、袋状のポケットの外側に、バックシートがあり、トップシート2とバックシートの間の中央部分に、吸収体3が介在固定されている。

(ハ) バックシート1とトップシート2が、男児の場合は男性性器全体を、（大人の男性の場合は陰茎を）、付け根の部分で袋状に包むことができるような形になっている。

【0005】〔作用〕

本考案の使用は、次のようにする。

(イ) 上方立体A5、下方立体B7、左方立体C9、右方立体D11によってできる袋状のポケットの内側に、男児の場合は、男性性器全体を通し、ゴムA4と、ゴムB6と、ゴムC8と、ゴムD10を、男性性器のつけ根で固定させ、本考案使い捨てオムツをあてがう。（図2使用）

(ロ) 上方立体A5、下方立体B7、左方立体C9、右方立体D11によってできる袋状のポケットの内側に、大人の男性の場合は、陰茎を通し、ゴムA4と、

ゴムB6と、ゴムC8と、ゴムD10を、陰茎の付け根で固定させ、本考案使い捨てオムツをあてがう。(図3使用)

(ハ) 本考案の底面についている剥離紙を、剥離した状態で、個々の身体に合った既成のパンツをはいて、パンツに粘着剤層(底面部にある)を付着させて使用する。

(ニ) すると、男児の場合は、男性性器の付け部分で、バックシート1とトップシート2が、男性性器全体を、袋状に包んだ状態となる。

(ホ) 大人の男性の場合は、陰茎の付け根の部分で、バックシート1とトップシート2が、陰茎の全体を袋状に包んだ状態となる。

#### 【0006】〔実施例〕

以下、実施例について説明する。

(イ) 底面側に、プラスチックフィルムなどの不透水性のバックシート1を置き、頂点側に、不織布などの透水性のトップシート2を置き、バックシート1とトップシート2の間の中心部分に、綿状パルプや、高分子吸収体などの吸収体3を介在固定する。(図1参照)

(ロ) バックシート1の底面側の一部に、粘着剤層があり、粘着剤層には、剥離紙が付着してある。

(ハ) バックシート1より、トップシート2の方が、面積が大きく、トップシート2には、四方に、ゴムA4、ゴムB6、ゴムC8、ゴムD10がほどこされている。(図1参照)

(ニ) ゴムA4、ゴムB6、ゴムC8、ゴムD10のほどこし方は、トップシート2の先端を、トップシートの底面側に接着し、トップシート2が、2重に重なった部分の間に、ゴムA4、ゴムB6、ゴムC8、ゴムD10が伸ばした状態を通っている。しかし、どのようなゴムのほどこし方でもかまわない。(図1参照)

(ホ) ゴムA4がほどこしてある、バックシート1とバックシート2の、頂点方向に谷折りに折れ曲った部分が、上方立体A5となる。(図2参照)

(ヘ) ゴムB6がほどこしてある、バックシート1とバックシート2の頂点方向に谷折りに折れ曲った部分が、下方立体B6となる。(図2参照)

(ト) ゴムC8がほどこしてある、バックシート1とバックシート2の頂点方向

に谷折りに折れ曲った部分が、左方立体C 9となる。(図2参照)

(チ) ゴムD 1 0がほどこしてある、バックシート1とバックシート2の頂点方向に谷折りに折れ曲った部分が、右方立体D 1 1となる。(図2参照)

(リ) 左方立体C 9の一部を、上方立体A 5と下方立体B 7のトップシート2のある側に、接着固定し右方立体D 1 1の一部を、上方立体A 5と下方立体B 7のトップシート2のあれ側に、接着固定し、下方立体B 7の一部を、左方立体C 9と右方立体D 1 1のバックシート1のある側に接着固定し、上方立体A 5の一部を、左方立体C 9と右方立体D 1 1のバックシートのあ側に接着固定する。(図2参照)

(ヌ) できた袋状の四方の角を丸くカットして、左右の側面を、圧縮接着固定処理し、そこが、圧縮接着固定処理部位1 2となる。(図2参照)

(ル) 圧縮接着固定処理は、上下左右のすべての側面にほどこしてよい。

(ヲ) 上方立体A 5、下方立体B 7、左方立体C 9、右方立体D 1 1によってできた、袋状のポケットの入口は、ゴムA 4、ゴムB 6、ゴムC 8、ゴムD 1 0がほどこされているので、伸び縮みさせることができる。

(ワ) ゴムA 4、ゴムB 6、ゴムC 8、ゴムD 1 0のゴムの大きさ、長さ、強さ、本数、ほどこし方などは、自由に変えて作成してもよい。

(カ) 本考案の応用例として、それぞれの部位の、大きさ、長さ、比率、形状など、自由に変えて作成してもよい。

(コ) 従って、(図2)の形状のものを、大きさを変えて、男児用にも、大人の男性用にも使用できる。その場合、大人の男性も男児も、男性性器全体をバックシート1とトップシート2に包んだ状態で使用できる。

(ク) 応用例として、上方立体A 5の一部を、左方立体C 9と右方立体D 1 1のトップシート2のある側に、接着固定し、下方立体B 7一部を左方立体C 9と右方立体D 1 1のトップシート2のある側に、接着固定し、左方立体C 9の一部を、上方立体A 5と下方立体B 7のバックシート1のある側に接着固定し、できた袋状の四方の角を丸くカットして、上下の側面を、圧縮接着固定処理をしてもよい。また、その場合も、上下左右すべての側面に圧縮接着固定処理をしてもよい。



(カ) 応用例の場合、各部位の形状大きさ、長さ、比率が異なる。

【0007】〔考案の効果〕

本考案を、男性が使用すると、次のような効果がある。

(イ) 男性性器の先端部分より放出される尿が、バックシート1とトップシート2によってできる袋状のポケットの外部に、飛び出すことなく、バックシート1とトップシート2の間に介在固定させた吸収体3に、狭い範囲で効果的に吸収させることがでかきる。

(ロ) 尿が広い範囲に、飛び散ることがない。

(ハ) 使い捨てオムツの、小型化、軽量化、コストダウンが図れる。

(ニ) 使い捨てオムツの、皮膚との接触面積が少なくなり、夏の暑い時期の不快感がやわらげられる。

(ホ) 大きさや、形状などを変えると、大人の男性から、男の赤ちゃんまで使用できるので、幅広い利用が可能である。

(ヘ) 小型なので、手軽に使用でき、介護の必要ない人や自分で装着するのに、便利である。

(ト) 本考案を装着した上に、従来の使い捨てオムツをすると尿のみの交換が容易にできる。

(チ) 男児又は男人の男性の陰茎に、〔図3〕の形態の本考案を装着し、〔図3〕の形態の本考案よりも大きい〔図2〕の形態の本考案で、装着している〔図3〕の本案と男性性器全体をいっしょに包める。

(リ) 従来の使い捨てオムツの構造の一部として利用できる。

Publication number: 08-001058

Date of publication of application: 02.07.1996

Int. Cl. A61F 5/453

A61F 13/ 15

A61F 5/ 44

Application number: 04-94586

Date of filing: 29.12.1992

Applicant: MITSUhide TAKAO

Title: DISPOSABLE URINE ABSORBING DIAPER FOR MALE

Claim 1(Amended on 19.10.1994)

A disposable diaper including a water impervious back sheet 1, a water pervious top sheet 2 and an absorber 3 disposed between the back sheet and the top sheet characterized by

the back sheet 1 and the top sheet 2 provided with rubber form an upper solid;

the back sheet 1 and the top sheet 2 provided with rubber form a lower solid;

the back sheet 1 and the top sheet 2 provided with rubber form a left solid;

the back sheet 1 and the top sheet 2 provided with rubber form a right solid; and

these four solids form a bag-shaped pocket so as to wrap a penis therein.